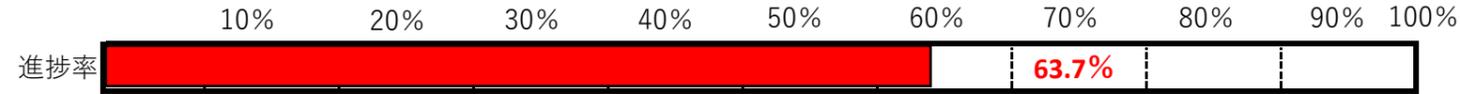


伊勢神改良事業

# 153号新伊勢神トンネル工事

令和7年12月

工事名 令和6年度 153号新伊勢神トンネル工事  
 発注者 国土交通省 中部地方整備局  
 名古屋国道事務所 豊田維持出張所  
 受注者 前田建設工業株式会社  
 工期 令和6年6月3日 ~ 令和9年3月31日



進捗状況 (R7.11.30 現在)  
 トンネル掘削：  
 1,783.0m/1,900m  
 トンネル覆工：  
 1,183.5m/1,900m

工事に関するお問い合わせ先  
 前田建設工業(株) TEL 0565-77-6986  
 作業所長・現場代理人 萬 正己  
 監理技術者 長幡 侑樹

【お知らせ】

トンネル掘削は坑口より約1,783m地点、覆工は1,184m迄工事が進んでおります。  
 11月もトンネル掘削・覆工の施工を行いました。到達側の切土工事を進めており、トンネルを貫通させる準備を行っています。発生土も引き続き本洞地区へ運搬してまいります。

【施工状況写真】

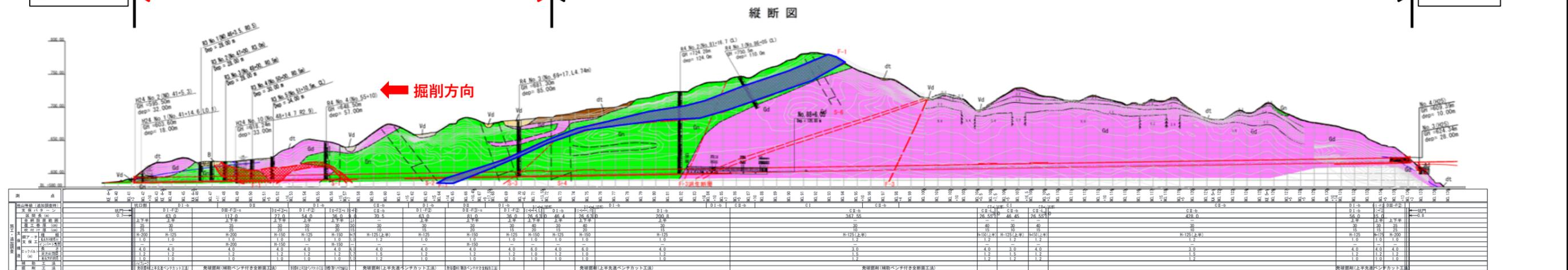


【計画工程表】

工種	令和6年度												令和7年度												令和8年度												令和9年度											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
準備工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
トンネル(NATM)	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
トンネル掘削	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
インバート	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
覆工(標準部)	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
覆工(非常駐車等)	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
坑門工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
中央排水	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
仮設構工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
残土運搬	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
道路改良	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
道路土工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
法面工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
擁壁工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
排水構造物工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
好悪雑物撤去工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
交通管理工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											
片付け工	[Bar]												[Bar]												[Bar]												[Bar]											

※ 現場状況によっては工程が変更になる場合があります。

至：豊田市街 ← 今回工事にて施工 掘削長L=約620m | 前工事にて施工済 掘削長L=約1,280m | 至：飯田市



凡例：青 前月迄、赤 今月、黒 前工事

# トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の含有量)

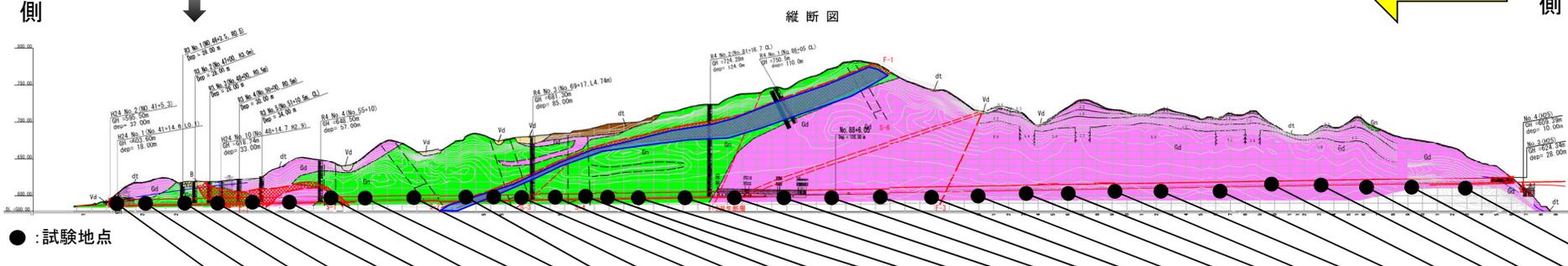
○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m<sup>3</sup>の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく含有量試験を実施しており、含有量試験結果では自然由来重金属等の基準超過はありません。

11月末時点の掘削位置  
1,783m/1,900m

名古屋側

掘削方向

飯田側



試験実施回数		第29回	第32回	第33回	第31回	第30回	第28回	第27回	第26回	第25回	第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回				
測点		No.41+7.0	No.43+17.0	No.46+7.0	No.48+17.0	No.51+7.0	No.53+17.0	No.56+7.0	No.58+17.0	No.61+7.0	No.63+17.0	No.66+7.5	No.68+17.5	No.71+7.5	No.73+4.5	No.74+2.7	No.77+4.3	No.80+9.3	No.83+16.3	No.87+3.3	No.90+9.3	No.93+15.3	No.97+3.7	No.100+9.7	No.103+15.6	No.106+11.2	No.109+12.8	No.112+14.0	No.116+0.0	No.119+6.0	No.123+14.4	No.126+0.4	No.129+6.4	No.133+2				
試験採取日		R7.8.20	R7.8.21	R7.8.21	R7.9.8	R7.9.8	R7.6.23	R7.6.23	R7.5.7	R7.5.7	R7.3.17	R7.3.6	R7.1.15	R6.11.28	R5.12.1	R5.10.4	R5.9.19	R5.8.31	R5.7.27	R5.7.2	R5.6.12	R5.5.29	R5.5.11	R5.4.13	R5.3.29	R5.3.13	R5.2.20	R5.2.2	R5.1.13	R4.11.25	R4.11.7	R4.10.18	R4.9.29	R4.8.31				
判定 (○:対策不要、×:要対策)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
分析項目	目標値	下限値	単位																																			
	カドミウム及びその化合物	45以下	4	4.5未満	4未満	4未満	4未満	4.5未満	4.5未満	4.0未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	4未満	4.5未満	
六価クロム化合物	250以下	5	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満												
水銀及びその化合物	15以下	0.05	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満													
セレン及びその化合物	150以下	5	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満												
鉛及びその化合物	150以下	5	5未満	5未満	5未満	6	5未満	5未満	5未満	5未満	7	7	6	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満		
砒素及びその化合物	150以下	5	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満												
ふっ素及びその化合物	4000以下	50	60	50未満	79	61	80	80	62	50未満	50未満	110	90	90	60	50未満	50未満	50	50	60	70	50未満	50未満	50未満	50未満	60	50	50未満	130	130	100	50未満	70	50未満	170	70		
ほう素及びその化合物	4000以下	50	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満												

今回工事 前工事

※ 目標値:トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壤含有量基準値を設定してモニタリングを行っています

凡例

○:自然由来重金属等 基準内 ×:土壤含有量基準超過

# トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の溶出量)

○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m<sup>3</sup>の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく溶出量試験を実施しており、溶出量試験結果では、R7.3月以降一部に自然由来重金属等の基準超過がみられました。基準を超えた土砂は適切に処分しています。

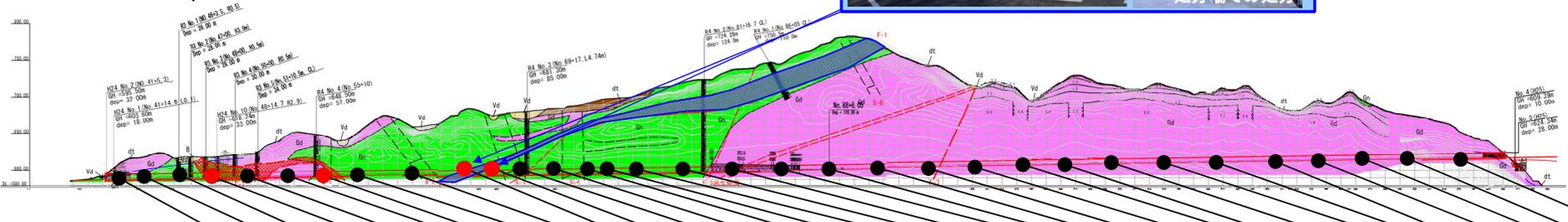
11月末時点の掘削位置  
1,783m/1,900m

名古屋側



飯田側

縦断面図



試験実施回数		第29回	第32回	第33回	第31回	第30回	第28回	第27回	第26回	第25回	第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回				
測点		No.41+7.0	No.43+17.0	No.46+7.0	No.48+17.0	No.51+7.0	No.53+17.0	No.56+7.0	No.58+17.0	No.61+7.0	No.63+17.0	No.66+7.5	No.68+17.5	No.71+7.5	No.73+4.5	No.74+2.7	No.77+4.3	No.80+9.3	No.83+16.3	No.87+3.3	No.90+9.3	No.93+15.3	No.97+3.7	No.100+9.7	No.103+15.6	No.106+11.2	No.109+12.8	No.112+14.0	No.116+0.0	No.119+6.0	No.123+14.4	No.126+0.4	No.129+6.4	No.133+2				
試験採取日		R7.8.20	R7.8.21	R7.8.21	R7.9.8	R7.9.8	R7.6.23	R7.6.23	R7.5.7	R7.5.7	R7.3.17	R7.3.6	R7.1.15	R6.11.28	R5.12.1	R5.10.4	R5.9.19	R5.8.31	R5.7.27	R5.7.2	R5.6.12	R5.5.29	R5.5.11	R5.4.13	R5.3.29	R5.3.13	R5.2.20	R5.2.2	R5.1.13	R4.11.25	R4.11.7	R4.10.18	R4.9.29	R4.8.31				
判定 (○: 対策不要, ×: 要対策)		○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
分析項目	目標値	下限值	単位																																			
	カドミウム及びその化合物	0.003以下	0.0003	(mg/L)																																		
六価クロム化合物	0.05以下	0.01	(mg/L)																																			
水銀及びその化合物	0.0005以下	0.0005	(mg/L)																																			
セレン及びその化合物	0.01以下	0.001	(mg/L)																																			
鉛及びその化合物	0.01以下	0.001	(mg/L)																																			
砒素及びその化合物	0.01以下	0.001	(mg/L)																																			
ふっ素及びその化合物	0.8以下	0.08	(mg/L)																																			
ほう素及びその化合物	1.0以下	0.1	(mg/L)																																			
中性水添加によるpH	-	-	7.4	9.1	9.0	8.4	9.2	9.2	9.5	9.3	9.1	9.5	9.5	12.0	-	9.5	9.3	9.3	9.4	10.7	9.3	9.4	8.9	10.2	9.5	10.5	9.6	9.7	9.3	9.6	9.9	-	-	-				
過酸化水素添加によるpH	-	-	7.3	6.7	3.4	4.1	7.3	3.2	6.0	7.6	10.6	11.0	7.7	11.5	7.3	6.8	6.9	6.3	8.7	9.3	6.7	6.7	6.8	6.8	7.0	8.9	6.5	6.7	6.9	7.3	6.8	-	-	-				

今回工事 前工事

●: 試験地点 ●: 基準超過地点

※ 目標値: トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壤溶出量基準値を設定してモニタリングを行っています

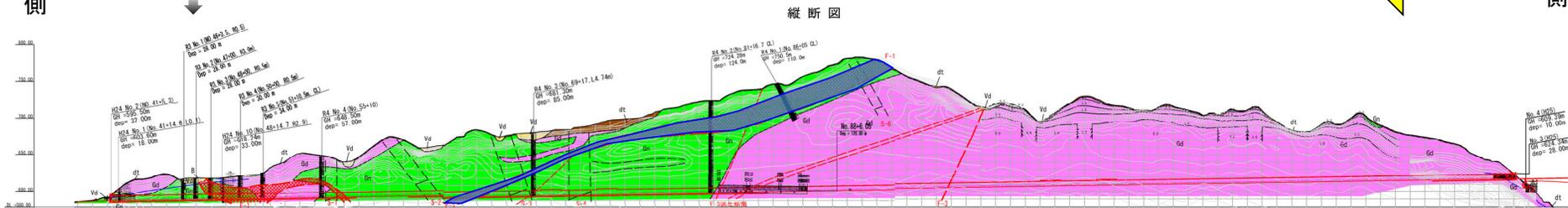
凡例

○: 自然由来重金属等 基準内 ×: 土壤溶出量基準超過

# 基準を超えた土砂への対応について

- 本掘削に先立ち**先進ボーリング**を行い、どの地点で砒素が不適応となるかを**事前に把握しながら工事を進めています**。
- 今回確認された基準超過の土砂は、先進ボーリングにて事前把握し、**要対策土を処理施設**へ場外搬出し適切に処分しております。

名古屋側  
11月末時点の掘削位置  
1,783m/1,900m



# 水質モニタリング状況(11月の水質調査結果)

○水質モニタリングは、毎月残土処分場周辺で河川や沢水に重金属が含まれていないか確認するために実施します。  
 ○重金属等は、これまでに1回/1月の頻度で実施しており、これまでの分析結果では異常は認められていません。



地点名	地点概要	採水日	分類 (基準) 検査名 参考値※	重金属項目								水素イオン濃度 (pH)	一般項目 (-) 電気伝導率 (mS/m)	判定
				カドミウム	総水銀	セレン	鉛	砒素	六価クロム	ふっ素	ほう素			
				0.003mg/L以下	0.0005mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.02mg/L以下	0.8mg/L以下	1mg/L以下			
①	阿摺川	2025年11月	○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05 未満	○ 0.05 未満	○ 7.3	- 6.03	○ 適合	
②	段戸川		○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05 未満	○ 0.05 未満	○ 7.0	- 3.82	○ 適合	
③	沢水		○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05	○ 0.05 未満	○ 7.5	- 14.12	○ 適合	
④	沢水		○ 0.0003 未満	○ 0.0005 未満	○ 0.002 未満	○ 0.005 未満	○ 0.005 未満	○ 0.01 未満	○ 0.05 未満	○ 0.05 未満	○ 7.5	- 7.70	○ 適合	

参考値超過

※ 参考値：自然由来重金属・pHともに環境基準を参考値として設定し、モニタリングを行っています